



県内経済の動き

概 況

〔2025年5月～2025年7月の動き〕

緩やかな回復が続く

鉱工業生産指数（5月）は3カ月連続で前月比上昇、通関輸出額（6月 細島港）は2カ月ぶりに前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（6月 全店ベース）は8カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（7月）は2カ月ぶりに前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（6月）は3カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（7月 保証対象請負総額）は2カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（6月）は前月比▲0.02ポイントの1.25倍で、7月の企業倒産は前月比3件減の3件、負債総額は同10億69百万円増の13億56百万円となった。

トランプ関税は税率15%で調整の見込み。長引く物価高に加え、米国の関税上乘せが県内経済にどのような影響を及ぼすか注視したい。